



校長室だより（33） H31(2019).3.1.金

熊商の日々の教育活動 ～ 志高く、怒と信頼の人づくり ～

熊本県立熊本商業高等学校 校長 郷 慶次

◆祝 卒業おめでとう。

3年生の皆さん、卒業おめでとう。

保護者の皆様におかれましては、お子様の御卒業を心からお祝い申し上げます。今日のお子様の高校生活最後の晴れ姿に、3年間の様々な出来事が重なり、感慨もひとしおのことと思います。皆様には、体育大会や育友会総会、学級懇談や三者面談等、年間を通してさまざまな行事に御協力いただきましたことを、この場をお借りしてお礼を申し上げます。今日のお子様の晴れ姿も、保護者の皆様の御理解と御協力があったものです。改めて厚く御礼申し上げます。

本日、御来賓としてご出席をいただきました皆様におかれましては、日頃から本校の発展のために物心両面からの御支援をいただいております。心から感謝を申し上げます。今後とも本校の教育活動に対する御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、3年前の4月、熊本はこれまでに経験したことのない大きな地震に見舞われました。皆さんが熊商に入学して間もなく、一泊二日の阿蘇での集団宿泊研修から帰った翌日の4月14日の夜のことでした。熊本地震の前震が起き、2日後の16日には本震が発生し、その後も震度6、震度5といった余震と表現するにはあまりに大きな地震も続き、建物や道路、公共施設、農地等、熊本が築き上げてきた財産が傷つき、失われ、多くの方が被害に遭われました。学校は三週間の休校となり、延期や中止を余儀なくされた行事も多く、皆さんが楽しみにしていた高校生活に慣れるまでには時間が必要でした。

あれから早、3年。今、熊本は熊本地震からの復旧・復興の真っただ中にあります。交通センター跡地や熊本駅前では大規模な再開発も進んでいます。少しずつ前進している熊本があり、その熊本にとって必要なのは言うまでもなく人の力です。熊本に活力を与え、熊本を発展させてくれるのは皆さん方のような若い人の力です。就職の道を選んだ人も、公務員になることを決めた人も、大学や専門学校等の上級学校に進学後、数年経ってから社会に出る人も、企業や地域等で活躍し、熊本を支え、日本の発展を担う人になります。皆さんが今後も学ぶ姿勢を持ち、力を付け、社会の一員として活躍することを心から期待をしています。

また、皆さんは、1万人以上の来客のあった熊商デパートを3回経験して商売の厳しさを学び、部活動では目標の達成や夢の実現のために自らの力を高めることを追い続け、就職や進学の進路実現のためには学校を休まぬように心がけ、毎時間、授業に集中し、検定試験では合格を目指して学習に励み全国でもトップレベルの結果を残しました。皆さんは3年間良く努力し、確実に力を付けました。明日からは熊商での力を糧にして、さらに精進してくれることを願っています。

しかし、人生を道で例えるなら、これから歩む人生は平たんな道ばかりではありません。アスファルトの立派な道路もあれば、でこぼこの道や雨水で濡れた悪路もあります。仕事も生活も順調に進む時もあるれば、思い通りにいかない時や人との関係に悩んだりする時もあるでしょう。うまくいかない時があったとしても、それは貴重な経験となり次の機会に生かすことができます。坂道でも、曲がりくねった道でも、その人なりの歩み方があります。これからの長い人生を皆さんなりに一歩ずつ前に進んでください。

私から皆さんに贈りたい言葉があります。「思いやり」と「感謝」の二つです。

私が皆さんに幾度となく述べた論語にある「怒」は、人と交わる、人とともに過ごす中で大切な言葉と想っています。「己の欲せざるところ人に施すことなかれ」。自分にされたくないことを人に対して行わないという教えを忘れず、思いやりの気持ちを持って過ごして欲しいと願っています。

また、「感謝」は素直な気持ちを持つことに通じると思っています。家族に、友人に、周りの人に対してありがとうと素直に言えることは素晴らしいことです。人との関係を築き、繋がりを深めることにもなります。今日は皆さんが高校生活に区切りをつける日です。早速、お世話になった方々に素直に感謝の気持ちを伝えて欲しいと思います。

皆さんとの別れの時が来ました。皆さんは熊本商業高校での3年間を礎にして、自らの夢や目標を実現するという志を高く持ち、賢く、たくましく前進してください。この学舎を巣立ってゆく皆さんが、健康で、幸せな人生を送ることを祈っています。(写真：平成28年4月14日 玄関前での1年生クラス写真撮影)

